

科目名	精神看護学概論 Introduction to Psychiatric Nursing		担当教員 (研究室番号)	長南幸恵 (401)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	2年次 前期	科目 区分	専門科目・広域看護学		選択 区分	必修	単位数 (時間)	1 (15)	授業 形態	講義	科目等 履修生	否
											オープンクラス	否
科目 目的	本科目は、心の健康が身近な問題であること、心の健康を保つための精神機能について理解するとともに、ライフサイクルにおける個人及び家族の精神発達やメンタルヘルス上の課題について理解することを目的としている。また、日本における精神保健医療福祉の歴史や法律・制度の変遷や日本が抱える課題、精神科領域のチーム医療について理解することも目的としている。											
ディプロマ・ポリシー (DP)	主要なDP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解)										
	関連するDP	A. 人々の生命・尊厳・権利を尊重し、看護専門職者としての倫理観に基づいて行動することができる。(姿勢・態度) C. 多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。(技能・表現)										
到達 目標	1. 精神障害の基本的な考え方やこころの発達について考え、精神看護の対象や役割を述べることができる。 2. 現代社会におけるこころの問題からメンタルヘルスを述べるができる。 3. 精神保健医療福祉の歴史の変遷と法体系、精神疾患のある人の処遇や人権擁護について述べるができる。 4. 精神医療保健福祉の現状から精神疾患のある人を支える地域包括ケアシステムについて述べるができる。 5. ストレスマネジメントと精神看護師の役割について述べるができる。											
成績評価方法 (基準)	期末試験 (50%)、課題 (35%)、リアクションペーパー (15%) : 計100点 ※課題およびリアクションペーパーは講義出席者のみ採点対象とします。											
再試験の有無と 基準等	有 (期末試験受験者のうち、不合格者が対象です) 再試験は筆記試験とし、成績評価は再試験100%とします (既出の課題やリアクションペーパーは評価外)											
教科書	ナーシンググラフィカ 精神看護学① 情緒発達と精神看護の基本 第5版, メディカ出版, 2022.											
参考書等	授業内で適宜紹介する											
学生の主体性を伸ばす ための教育方法と学生 への期待	身近な心に関する社会問題に目を向け、こころや人格は、どのように発達するのか、こころの健康とは何かを考えていきましょう。今日まで続いている精神疾患への根強い偏見や精神保健福祉医療の現状や課題について、問題意識をもって取り組まれることを期待しています。											
備考	精神看護方法 I を履修するための先修条件になります。											
回	学習項目			学習内容				主担当 教員	授業 方法			
1回	精神障害についての基本的な考え方			オリエンテーション (科目概要、到達目標、評価) 社会におけるこころの健康と精神看護の果たす役割を学ぶ。				長南	講義			
2回	人のこころと行動			自我、防衛機制、対象関係論などの視点からこころの発達や人格形成を学ぶ。				長南	講義			
3回	現代社会とこころ			現代社会の特徴とこころの問題について考え、メンタルヘルスについて学ぶ。				長南	講義			
4回	精神医療の歴史と看護			精神医療の歴史の変遷と精神看護において守るべき人権や倫理的配慮について学ぶ。				長南	講義			
5回	精神保健医療福祉に関する法と人権①			精神保健医療福祉における法体系の概観を学ぶ。 精神看護における法の意味と看護師の果たす役割を学ぶ。				長南	講義			
6回	精神保健医療福祉に関する法と人権②			精神保健医療福祉における法体系の概観を学ぶ。 精神看護における患者の処遇や人権擁護を学ぶ。				長南	講義			
7回	精神医療保健福祉の現状と地域包括ケア			精神医療保健福祉の現状と地域包括支援や多職種連携の役割、被援助者や家族とのあるべき関係を学ぶ。				長南	講義			
8回	ストレスマネジメントと精神科看護師の役割			看護師のストレスやこころの健康について学ぶ。				長南	講義			

学 習 課 題

【事前】：学習回に該当するテキスト箇所を読了してください。

実務経験を活かした教育の取組

・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。